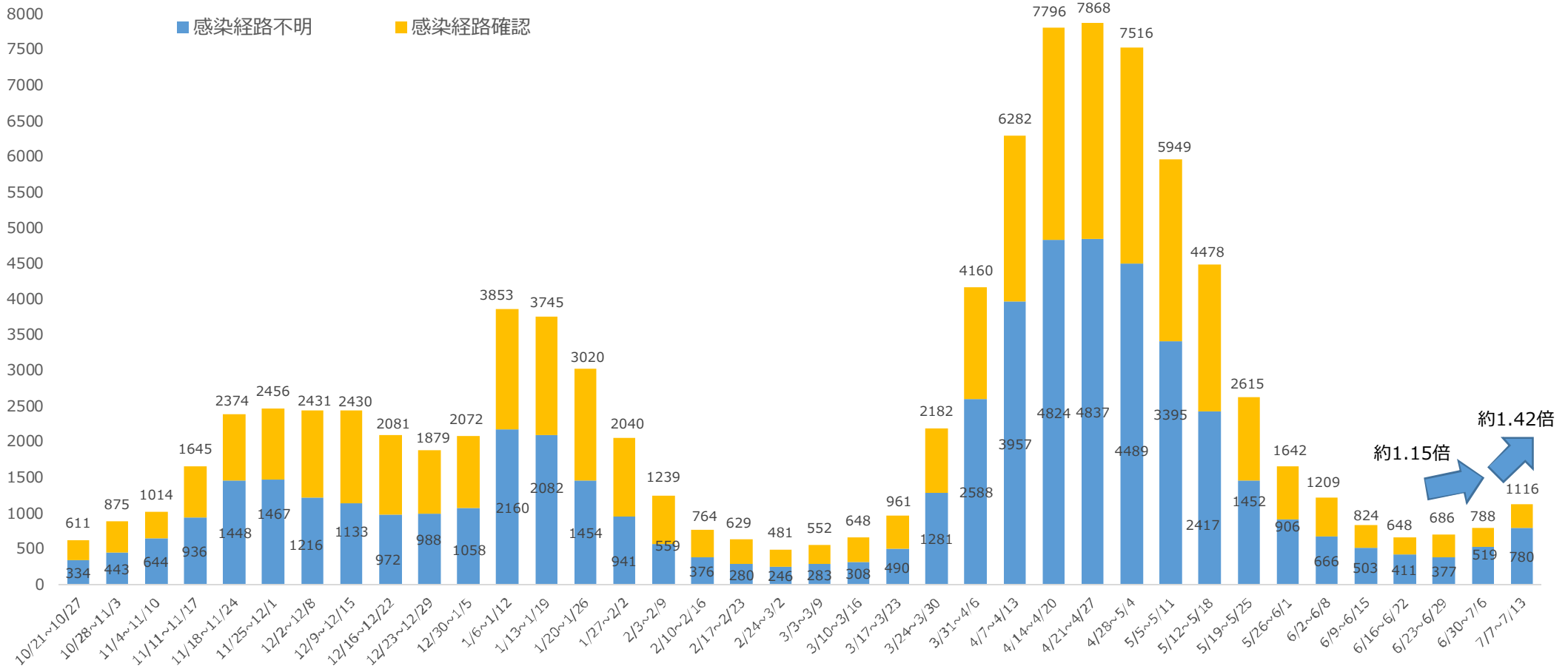


7日間毎の新規陽性者数(7月13日時点)

フリップ①

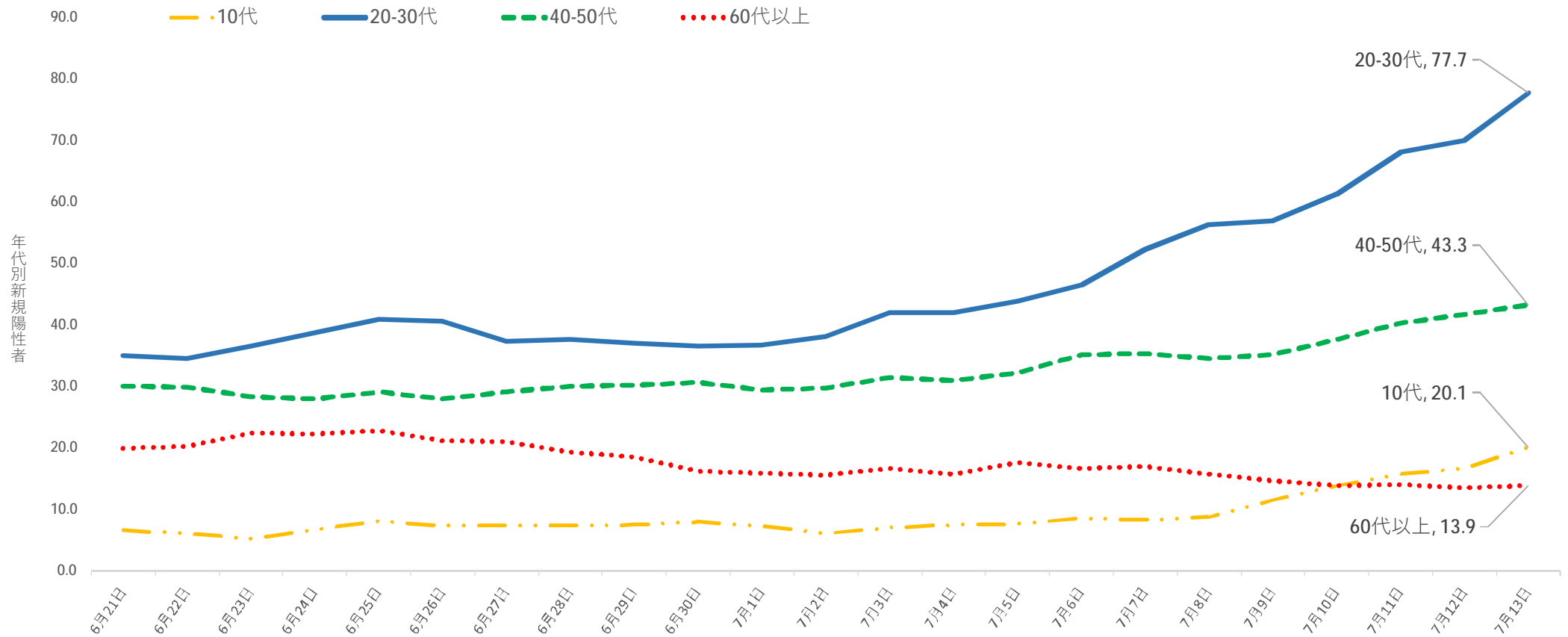
◆7日間毎の新規陽性者数は、6月末から増加し、直近1週間で約1.42倍。



年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

フリップ②

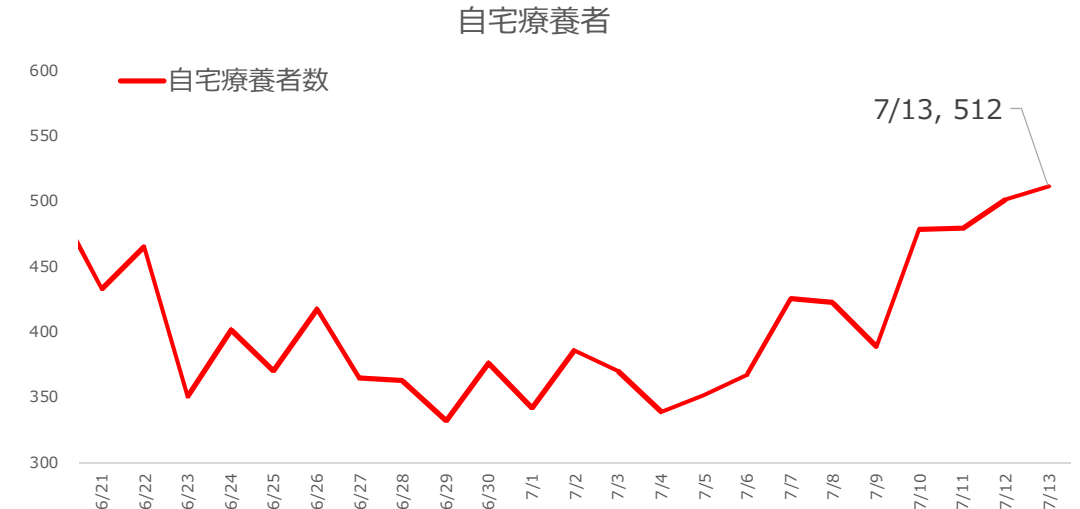
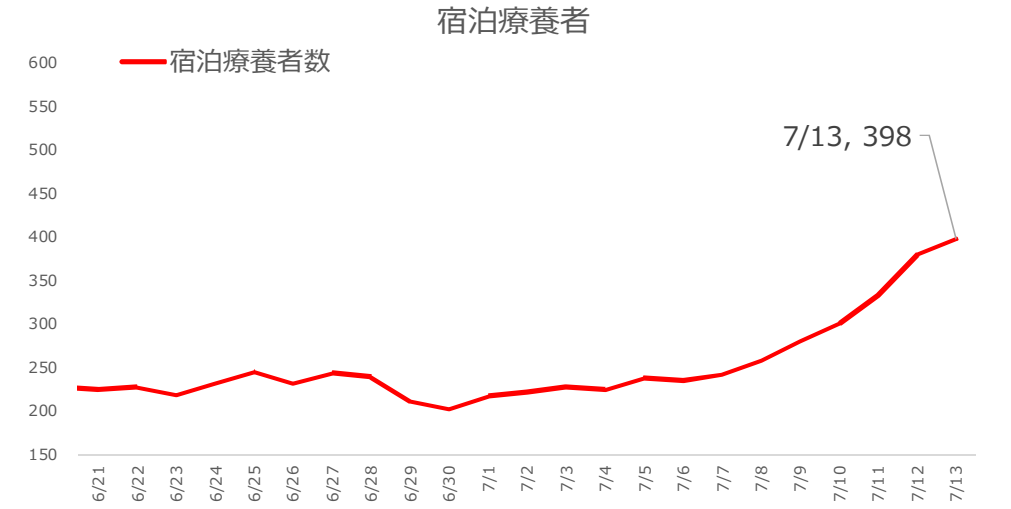
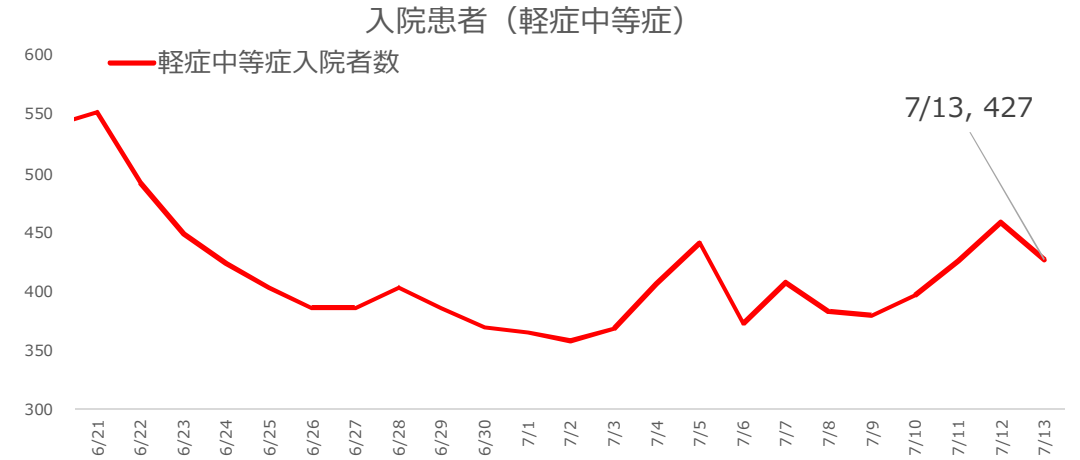
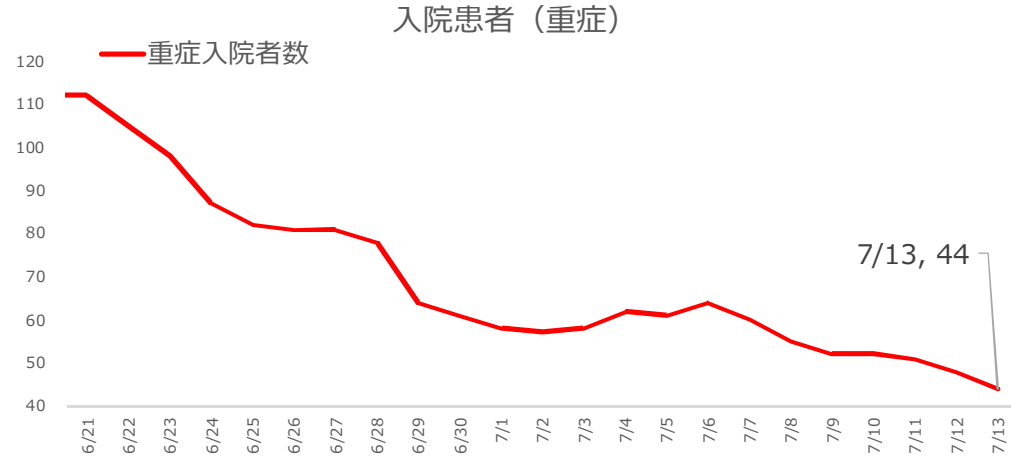
◆60代以上を除いて、各年代で増加。特に、20・30代で大きく増加。



第五波 療養状況 (7月13日時点)

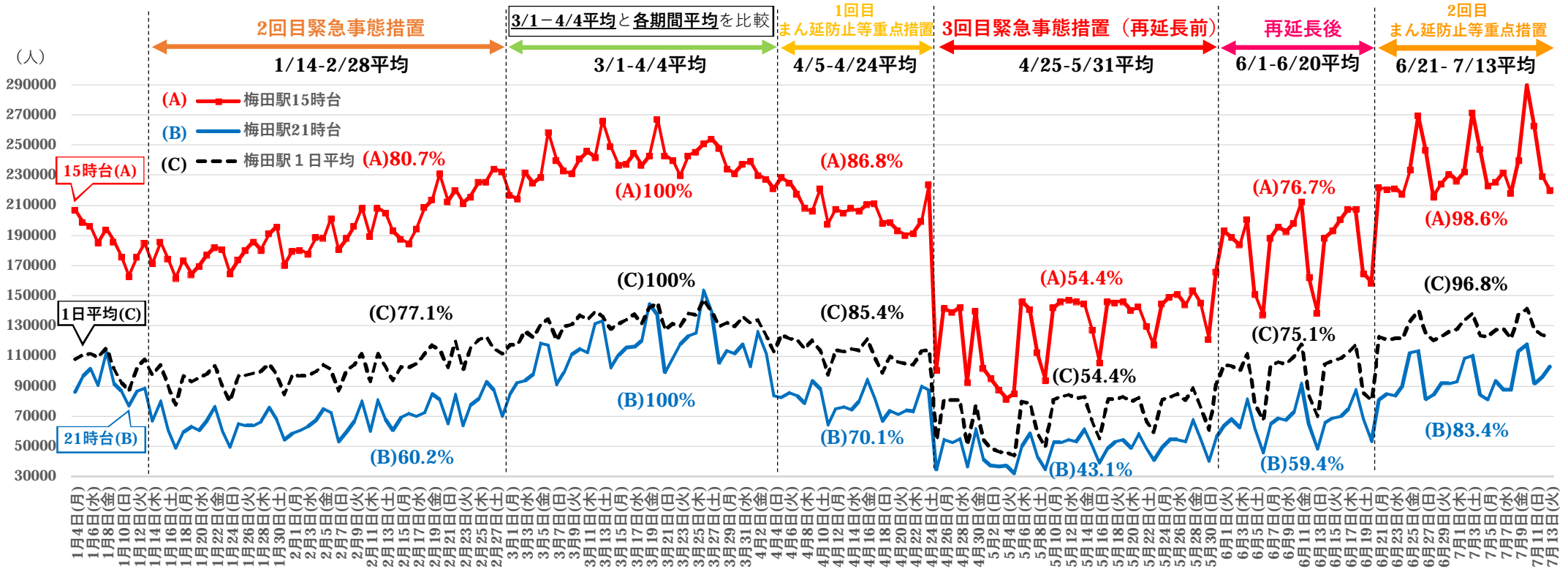
フリップ③

◆重症者数を除いて、各療養者数は、7月上旬以降、増加。(重症者数は、新規陽性者数の増加より、やや遅れて増加する傾向。)
 ※3/1～6/20を「第四波」、6/21以降を「第五波」として分析。



【時間帯別】滞在人口の推移 (梅田駅 | 5時台・21時台)

フリップ④



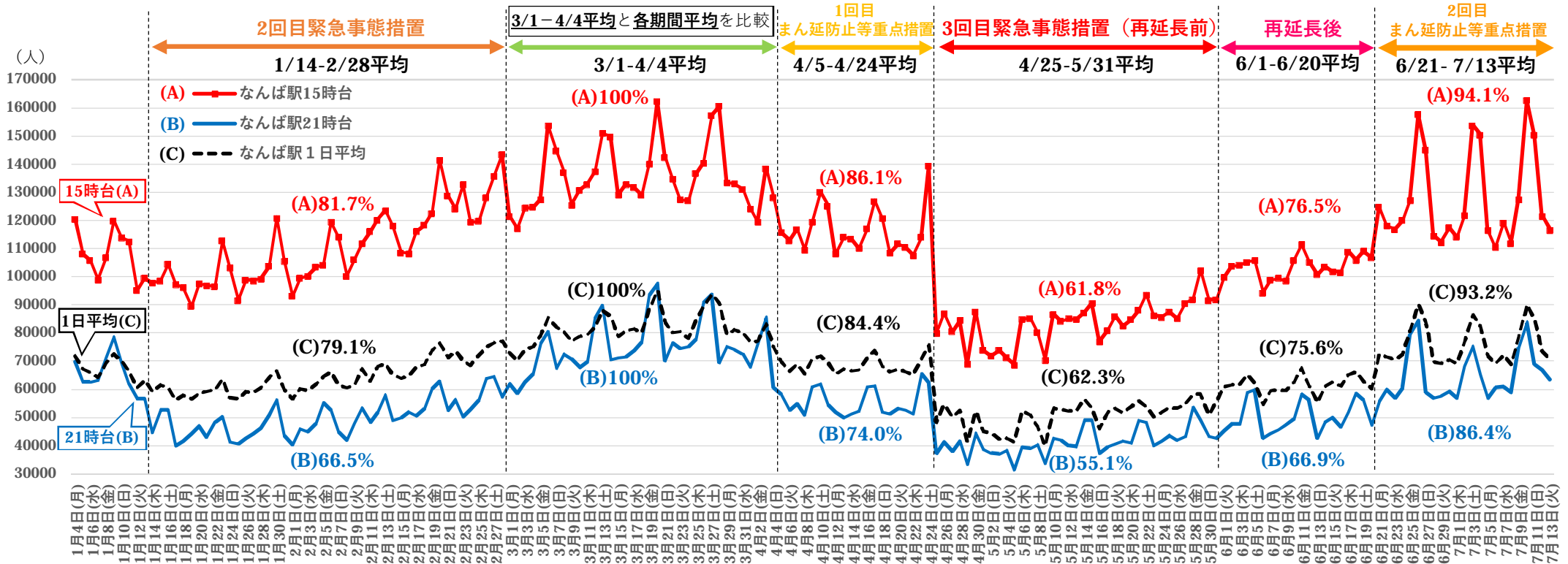
時間帯/ 比較期間	1回目 緊急事態措置 (4/7-5/21平均)	2回目 緊急事態措置 (1/14-2/28平均)	1回目 まん延防止等重点措置 (4/5-4/24平均)	3回目緊急事態措置		2回目 まん延防止等重点措置 (6/21-7/13平均)
				再延長前(4/25-5/31平均)	再延長後(6/1-6/20平均)	
15時台	26.0%	80.7%	86.8%	54.4%	76.7%	98.6%
21時台	21.2%	60.2%	70.1%	43.1%	59.4%	83.4%
1日平均	27.6%	77.1%	85.4%	54.4%	75.1%	96.8%

※駅中心半径500mエリアの
各時間ごと滞在人口をカウント
(例)エリアに1人の人が、
1時間滞在していた場合は1人、
30分滞在していた場合は0.5人
として計算

【出典：株式会社Agoop】

【時間帯別】滞在人口の推移（なんば駅15時台・21時台）

フリップ⑤



時間帯／比較期間	1回目緊急事態措置 (4/7-5/21平均)	2回目緊急事態措置 (1/14-2/28平均)	1回目まん延防止等重点措置 (4/5-4/24平均)	3回目緊急事態措置		2回目まん延防止等重点措置 (6/21-7/13平均)
				再延長前(4/25-5/31平均)	再延長後(6/1-6/20平均)	
15時台	33.4%	81.7%	86.1%	61.8%	76.5%	94.1%
21時台	30.3%	66.5%	74.0%	55.1%	66.9%	86.4%
1日平均	35.2%	79.1%	84.4%	62.3%	75.6%	93.2%

※駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント(例)エリアに1人の人が、1時間滞在していた場合は1人、30分滞在していた場合は0.5人として計算

【出典：株式会社Agoop】

今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の病床確保状況等

フリップ⑥

◆新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関に対し、「重症拠点病院」「中等症・重症一体型病院」「軽症中等症病院」への医療機関分類の登録及び更なる病床確保を依頼（6月15日）

● 医療機関分類別病床確保状況（7月13日）

医療機関分類	新規患者受入			病床数		
	重症	中等症	軽症	重症	軽症中等症	総数
重症拠点病院 (10病院【うち ECMO対応可能 9 病院】※1)	○	—	—	約230床	—	約230床
中等症・重症一体型病院① (19病院【うち ECMO対応可能 6 病院】)	○	○	—	約200床	約500床	約700床
中等症・重症一体型病院② (46病院)	△※2	○	○	約150床※2	約850床	約1,000床
軽症中等症病院 (105病院)	—	○	○	—	約1,100床	約1,100床
合計（180病院※3）				約580床	約2,450床	約3,030床

※1: 専門病院のため、一部医療機関においてECMO対応が難しい医療機関がある

※2: 主に院内で重症化した場合に治療継続いただくために使用する病床

※3: その他 1 病院、受入病床・医療機関分類について調整中。

● 【新規】二次救急医療機関（内科又は呼吸器内科）の病床確保状況（7月13日）

	病院数	病床数
運用開始済み/受入に向け準備検討中	12病院	約45床
対応困難	38病院	—

※病院数と病床数の一部は上記の再掲

災害級非常事態において、**重症病床約580床・軽症中等症病床約2,450床（合計約3,030床）** 確保できる見込み
（確保状況を踏まえ、病床確保計画の見直しを検討）

今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の病床確保状況等

● 二次医療圏別病院登録状況（医療機関数）

	重症拠点病院	中等症・重症一体型病院①	中等症・重症一体型病院②	軽症中等症病院	合計(180)
豊能	1	3	6	6	16
三島	2	1	5	3	11
北河内	－	5	5	16	26
中河内	1	1	2	9	13
南河内	1	－	1	12	14
堺市	－	2	5	10	17
泉州	1	2	5	11	19
大阪市	4	5	17	38	64

● 災害級非常事態の病床確保割合（二次医療圏別・病床区分別）

<重症病床(約580床)>



<軽症中等症病床(約2,450床)>



● 受入医療機関数・確保病床数の推移



- 今後、新型コロナ治療サポートチーム等により、受入医療機関に対し、研修等スキルアップ支援を行うことにより、受入体制の強化を図る
- とりわけ、軽症中等症病床の更なる確保に取り組む

大阪コロナ重症センター整備計画案の2次募集結果

フリップ⑨

- ◆ 2次募集(4/21~6/30)を実施し、1医療機関から整備計画案が提出
- ◆ 府として計画案の内容を確認し、整備を進めるため補助金を交付(予定)

(1) 応募医療機関及び計画案の概要

【医療機関名: **学校法人関西医科大学 関西医科大学総合医療センター** (守口市)】

整備病床数	重症病床14床
補助上限額	7億円(対象病床14床分)
整備手法	既存施設の改修
補助対象設備	CT、ECMO、人工呼吸器、生体情報モニタ など



(参考) 学校法人関西医科大学 関西医科大学総合医療センターの概要

- U 許可病床数: 477床(うち一般病床: 438床・精神病床: 39床)
- U コロナ患者入院実績(令和2年3月24日~令和3年6月30日) 中軽症患者345名、重症患者244名
- U 新型コロナウイルス受入病床: 中軽症24床、重症28床 ⇒ 重症42床(14床増床予定)

(2) スケジュール

- 7月中旬 提出のあった整備計画案を確認
- 上記確認後 速やかに補助金交付決定・整備開始
- 10月頃 運用予定

重症センターの内訳	整備病床数
大阪コロナ重症センター	30床
(仮称)大阪コロナ重症センター・野崎徳洲会 ※10月頃運用予定	20床
(仮称)大阪コロナ重症センター・関西医科大学 ※10月頃運用予定	14床
計	64床

宿泊事業者への支援

フリップ^⑩

◆ 府内宿泊施設における感染症対策のための物品購入や新たな宿泊ニーズに対応する前向き投資に係る費用について、補助金を交付

申請手続

令和3年7月16日(金曜日)受付開始。【申請期間は令和3年8月13日(金)まで】
原則、オンラインで申請受付。申請期間終了後、約2週間で交付決定予定

申請条件 (補助対象者)

次の①②を満たす府内の宿泊施設(旅館、ホテル、簡易宿所)を運営する宿泊事業者

- ①旅館業法上の営業許可を受けていること
- ②施設内の見やすい場所に大阪府「感染防止宣言ステッカー」を掲示していること

補助対象経費

- 〇 感染症対策のための物品の購入等(例:サーモグラフィ、キャッシュレス決済機器、消毒液等)
- 〇 前向き投資のための必要な経費(例:ワーケーションスペースの設置、非接触チェックインシステムの導入等)

補助対象期間

令和2年5月14日から令和3年12月31日まで

※すでに支払い済みの費用も対象

ただし、消耗品は、令和3年6月29日時点で納品・支払いが完了しているものが対象

補助上限額

補助対象経費の1/2以内

※補助金申請総額が予算上限額に達した場合には、交付額を調整

<1施設あたりの補助上限額>

客室数	補助上限額
9室以下	50万円
10室以上29室以下	100万円
30室以上49室以下	300万円
50室以上	500万円

問い合わせ先






大阪府宿泊事業者感染症拡大防止対策等支援事業補助金コールセンター

☎06-7632-6659 (平日の午前9時から午後6時まで) ※申請期間中は土曜日も開設

府営公園 新たな管理運営制度による事業者の公募開始

フリップ①①

ü 利用者サービスを高め、公園の魅力向上を図るため、
民間ノウハウを活用する新たな制度による公募を行います。

制度	①PMO型指定管理(指定期間20年)	②P-PFI型施設整備(事業期間20年)
概要	公園の維持管理に加え、施設整備(ハード事業)からイベント企画・立案(ソフト事業)まで、公園全体の管理運営を行う	府が定めるエリアで、カフェやレストランなどの飲食機能を主体とする施設を設置、管理運営を行う
イメージ	<p>公園全体の管理運営</p>   <p>維持管理</p>  <p>新たな施設整備(民間提案)</p>  <p>新たなイベントの企画(民間提案)</p>	<p>施設の設置、管理運営</p> <p>※エリア外の、公園の維持管理とイベント企画立案は、別途指定管理者が行う</p>   <p>新たな施設整備(民間提案)</p>

公募対象公園の概要

PMO型指定管理

服部緑地

- 開設面積: 126.3 ha
- 所在地: 豊中市、吹田市
- 主要施設: 円形花壇、陸上競技場、プール、人工芝サッカー場 等



PMO型指定管理

浜寺公園

- 開設面積: 75.1 ha
- 所在地: 堺市、高石市
- 主要施設: ばら庭園、交通遊園、プール、テニスコート 等



P、PFI型施設整備

住吉公園

- 開設面積: 8.0 ha
- 所在地: 大阪市
- 主要施設: 汐掛道、体育館、軟式野球場、テニスコート 等



PMO型指定管理

二色の浜公園

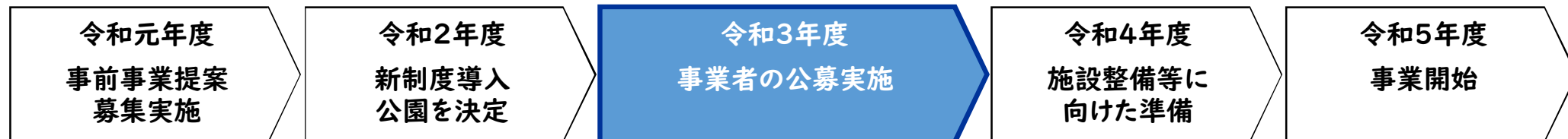
- 開設面積: 41.1 ha
- 所在地: 貝塚市
- 主要施設: 野球場、テニスコート、水上バイク斜路 等



府営公園 スケジュール

フリップ^⑬

■新たな管理運営制度導入スケジュール



■公募スケジュール

PMO型指定管理 (服部公園・浜寺公園・二色の浜公園)

■募集要項

令和3年7月15日～12月3日

■申請期間

令和3年11月29日～12月3日

■指定期間開始

令和5年4月1日 (指定期間20年)

※候補者の決定は、令和4年3月(予定)。
その後、諸手続きを経て、施設整備等に向けた準備を実施。

P-PFI型施設整備 (住吉公園)

■募集要項

令和3年7月15日～10月20日

■申請期間

令和3年10月14日～10月20日

■施設開業予定

令和5年4月 (事業期間20年▲)

▲事業期間20年には施設開業前後の設置・撤去に係る期間が含まれる。
※候補者の決定は、令和3年12月(予定)。
その後、諸手続きを経て、施設整備等に向けた準備を実施。

説明会や現地案内の実施を予定しております。
詳しくは、大阪府ホームページをご確認ください。

HP

大阪府営公園 新たな管理運営制度



新安治川水門の更新に係るアイデアコンペ・絵画コンクールの開催

フリップ⑭

- ◆ 安治川水門は、高潮時には水門を閉鎖し、大阪市内を高潮被害から守るための重要施設として、機能を発揮してきた。
- ◆ 現水門は、大阪市の都市景観資源に登録されるなど、「安全・安心のシンボル」として、府民や地域に親しまれている。
- ◆ 昭和45年の築造から50年が経過した現水門は、老朽化が進んでいることから更新が必要。更新にあたっては、高潮に対する防御のみならず、新たに津波に対しても防御できる水門を建設予定。

位置図



通常時

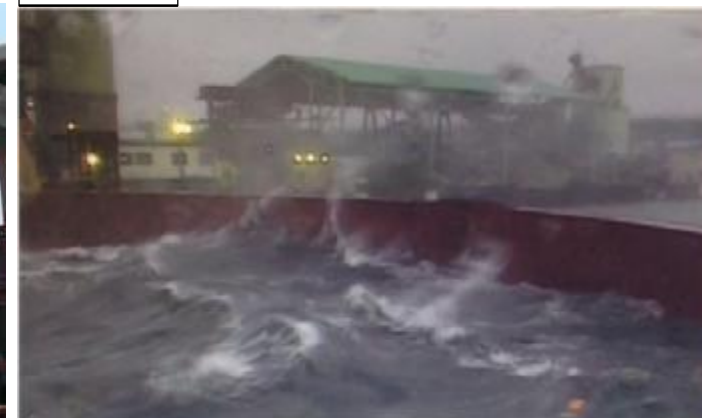
現安治川水門



昭和45年（1970年）
3月完成

閉鎖時

平成30年台風第21号来襲時



大阪港では観測史上最高潮位を記録したが、高潮対策施設により浸水被害を防止

（※被害防止の効果は約17兆円）

新安治川水門の更新に係るアイデアコンペ・絵画コンクールの開催

フリップ⑮

- ◆ 安治川水門周辺は、ベイエリアと大阪市内を結ぶ舟運ルートの中に位置し、地域の特色を活かした活性化プランが示されるなど、にぎわい創出の機運が高まりつつあることから、水門の更新にあたっては、現水門と同様に地域のシンボルとなるよう、「新安治川水門アイデアコンペ」を開催し、広くデザインのアイデアを募集。
- ◆ また、水門の更新に係るアイデアコンペの開催と併せて、防災教育や地域の関心を高めるため小学生を対象とした、「新安治川水門絵画コンクール」を開催。



新水門のイメージ図

新安治川水門の更新に係るアイデアコンペの開催

募集期間 令和3年7月16日(金)から9月7日(火)

結果発表 令和3年11月中旬頃

新安治川水門絵画コンクールの開催(小学生対象)

募集期間 令和3年7月16日(金)から9月24日(金)

結果発表 令和3年11月中旬頃

☪ 応募にあたっての詳細は、ホームページをご確認ください。

HP

安治川水門 アイデアコンペ

